

施設の概況

FACILITIES

●敷地 Land

校舎 College Buildings 46,257㎡ | 寄宿舎 Dormitory 18,743㎡ | 運動場 Playground 32,659㎡ | 職員宿舎 Staff Housing 3,757㎡ | 計 Total 101,416㎡

●建物 Buildings

平成26年4月1日現在 As of Apr. 1, 2014

区 分		Classification	構造	延面積	竣工年月	
			Structure	Total Area	Completion Date	
校 舎	管 理 棟	Administration Building	R3	1,411㎡	S 39. 3	
	講 義 室 棟(高 学 年)	Classroom Building (for Junior/Senior-year Students)	R3	2,325	S 39. 3	
	科 学 技 術 教 育 棟(低 学 年)	Science and Technology Forum (for Lower-year Students)	R4	1,920	H 13. 1	
	地 域 共 同 テ ク ノ セ ン タ ー	Research Incubator Center For Industrial Collaboration and Technological Innovation				
	階 段 教 室 棟	Lecture Hall Building	R2	692	S 55. 3	
	研 究 教 室 棟	General Education Teaching Staffs' Office Building	R3	512	S 41. 3	
	機 械 工 学 科 棟	Department of Mechanical Engineering Building	//	1,754	S 41. 3	
	電 気 情 報 工 学 科 棟	Department of Electrical and Computer Engineering Building	//	1,892	S 41. 3	
	物 質 工 学 科 棟	Department of Applied Chemistry Building	//	1,779	S 41. 3	
	物 質 工 学 科 棟(生 物 棟)	Department of Applied Chemistry Building	//	510	H 6. 3	
	環 境 都 市 工 学 科 棟	Department of Civil and Environmental Engineering Building	//	1,884	S 45. 3	
	専 攻 科 棟	Advanced Engineering Faculty Building	//	936	H 8. 3	
	実 習 工 場	Practice Workshop	S1	646	S 40. 3	
	工 業 技 術 実 習 セ ン タ ー	Manufacturing Technology Practice Center	//	200	H 15.10	
	情 報 処 理 セ ン タ ー	Information Processing Center	R1	314	S 49. 3	
	熱 機 関 実 験 室	Laboratory for Heat Engine	B1	134	S 46. 3	
	電 気 工 作 実 習 室	Laboratory in Electric Engineering	//	98	S 46.12	
	渡 廊 下	Connecting Corridor		422		
	小 計	Subtotal			17,429	
	寄 宿 舎	管 理 棟	Dormitory(Administration Building)	R1	1,017	S 45. 3
// 東 1 棟		Dormitory (East 1)	R3	879	S 45. 3	
// 東 2 棟		Dormitory (East 2)	//	1,168	S 45. 3	
// 西 1 棟		Dormitory (West 1)	//	1,342	S 39. 3	
// 西 2 棟		Dormitory (West 2)	//	1,094	S 41. 3	
渡 廊 下		Connecting Corridor		113		
小 計	Subtotal			5,613		
其 他	図 書 館	Library	R2	1,588	S 47.11	
	厚 生 会 館	Students' Hall	//	680	S 56. 3	
	第 1 体 育 館	Gymnasium 1	S1	995	S 41. 3	
	第 2 体 育 館	Gymnasium 2	//	894	S 53.12	
	武 道 場	Kendo/Judo Hall	//	474	S 43. 1	
	プ ール (屋 根 付)	Swimming Pool	R1	136	H 6. 8	
	課 外 活 動 施 設	Rooms for the Club Activities	S1	155	S 59. 3	
	課 外 活 動 部 室	Club Rooms	//	235	S 42. 3	
	警 備 員 室	Guardhouse	R1	13	S 39. 5	
	車 庫	Garage	S1	82	S 39. 5	
	車 庫	Garage	//	70	S 41. 3	
	ボ イ ラ ー 室	Boiler Room	R1	145	S 39. 5	
	受 変 電 機 械 室	Room of Demand and Indicator	//	75	S 47.11	
	廃 棄 物 保 管 庫	Waste Warehouse	S1	80	S 54. 3	
	渡 廊 下	Connecting Corridor		29		
	屋 外 便 所	Outdoor Washroom		30		
	体 育 器 具 庫	Storehouse for Physical Exercise or Other Activities		296		
	材 料 庫 他	Material Warehouse etc.		178		
	小 計	Subtotal			6,155	
	職 員 宿 舎	Staff Housing			849	
小 計	Subtotal			849		
合 計	Grand Total			30,046		

R: 鉄筋コンクリート造り Reinforced Concrete S: 鉄骨造り Steel Frame Work B: ブロック造り Block

(出展 平成 24 年度学校要覧)



(出典 平成 24 年度学校要覧)

資料 8 - 1 - ① - 3

次に、① 教室、② 実験室、③ 工場、④ 演習室、⑤ 図書室、⑥ 情報関連設備、⑦ 自習・休憩施設および食堂等、⑧ 体育施設の順に面積および主要設備について説明する。【DWG/No.29】

①教室は表 4-3 の通りである。

表 4-3 教室の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
教室(講義室)高学年	84	8	講義室棟	プログラム1・2年用, スクリーン
教室(講義室)低学年	81	12	科学技術教育棟	本科1~3年用, スクリーン
講義室 301	47	1	講義室棟	スクリーン
階段教室	217	1	階段教室棟	プロジェクター, スクリーン
合併教室	106	1	階段教室棟	CRT, スクリーン, ビデオ, プロジェクター
講義室 I	53	1	専攻科棟	CRT, スクリーン, ビデオ
講義室 II	53	1	専攻科棟	CRT, スクリーン, ビデオ
第一ゼミナール室	142	1	図書館	CRT, スクリーン, ビデオ, プロジェクター
第二ゼミナール室	98	1	図書館	TV, スクリーン, ビデオ
テクノコミュニティ	124	1	科学技術教育棟	TV, スクリーン, ビデオ, プロジェクター

②実験室は表 4-4 の通りである。

表 4-4 実験室の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
物理実験室	141	1	管理棟	発振器, ガイガーカウンタ
応用物理実験室	40	1	管理棟	光スペクトラムアナライザ
光学実験室	49	1	管理棟	実験装置
化学実験室	141	1	管理棟	試験装置, 実習装置
測定機器室	24	1	管理棟	測定機器
合計	396			
機械工学科関係実験室				
創造工房	90	1	機械工学科棟	オシロスコープ
メカトロ実験室	78	1	機械工学科棟	
機械工学実験室	52	1	機械工学科棟	
金属材料実験室	36	1	機械工学科棟	真空排気装置, ポンプ
精密加工・精密測定室	104	1	機械工学科棟	顕微鏡, 光弾性, 投影機
流体力学実験室	78	1	機械工学科棟	ポンプ, マノメータ
材料力学実験室	78	1	機械工学科棟	荷重計, 衝撃試験機
計算力学実験室	52	1	機械工学科棟	
福祉工学研究センター	108	1	機械工学科棟	
熱機関実験室	72	1	熱機関実験室	風洞
熱工学実験室	42	1	熱機関実験室	電気動力計, 冷却装置
合計	790			
電気情報工学科関係実験室				
半導体工学実験室	42	1	電気情報工学科棟	真空蒸着装置
電気機械実験室	78	1	電気情報工学科棟	実験用発電機, 3相調整器
マルチメディア実験室	52	1	電気情報工学科棟	
電気計測実験室	78	1	電気情報工学科棟	実習装置, ブリッジ

名称	面積(m ²)	室数	場所	設備
電気工学実験室	52	1	電気情報工学科棟	電動機
電子物性実験室	52	1	電気情報工学科棟	光学特性測定システム
電気機器実験室	52	1	電気情報工学科棟	発電機、信号発生器
電気応用実験室	52	1	電気情報工学科棟	
情報工学実験室	52	1	電気情報工学科棟	
電磁波工学実験室	68	1	電気情報工学科棟	スペクトラムアナライザ
パワーエレクトロニクス実験室	52	1	電気情報工学科棟	オシロスコープ
画像工学実験室	52	1	電気情報工学科棟	サーバー
コンピュータールーム	78	1	電気情報工学科棟	コンピュータ
電気工作実習室	78	1	電気工作実習室	ロボット実習セット
合計	838			
物質工学科関係実験室				
分析化学実験室	130	1	物質工学科	オートスチール
X線実験室	13	1	物質工学科	X線回折装置
天秤室	13	1	物質工学科	天秤
無機・有機化学実験室	130	1	物質工学科	高速遠心分離器
物理化学実験室	104	1	物質工学科	偏光計、分光光度計
準備室・物性解析室	52	1	物質工学科	
表面科学研究室	26	1	物質工学科	四重極質量分析計
化学工学実験室	130	1	物質工学科	多段連続精留装置
構造解析室	52	1	物質工学科	アーク変換赤外分光光度計
無機材料研究室	78	1	物質工学科	定電流電解装置
有機材料研究室	78	1	物質工学科	融点測定器
環境工学研究室	52	1	物質工学科	マイクロ冷却遠心機
プロセス工学研究室	78	1	物質工学科	循環型光触媒紫外線殺菌ユニット
物質工学実験室	80	1	物質工学科	
低温室(前室含む)	24	1	物質工学科	
材料プロセッシング研究室	21	1	物質工学科	恒温水槽
微生物学実験室	80	1	物質工学科	高性能分離用超遠心機
培養室(前室含む)	24	1	物質工学科	
生物工学実験室	80	1	物質工学科	高圧蒸気滅菌器
電子顕微鏡室(前室含む)	24	1	物質工学科	走査電子顕微鏡
合計	1269			
環境都市工学科関係実験室				
水理実験室	154	1	環境都市工学科	水理実験装置
地盤実工学実験室・解析室	62	1	環境都市工学科	三軸圧縮試験装置
(解析室)		1	環境都市工学科	振動三軸試験装置
コンクリート・構造実験室	234	1	環境都市工学科	細孔分布測定装置、構造物万能試験機
環境都市工学実験室	42	1	環境都市工学科	
水工・地盤研究室	62	1	環境都市工学科	
計画・材料研究室	62	1	環境都市工学科	
衛生工学実験室	92	1	環境都市工学科	原子吸分光光度計
デザイン・構造研究室	42	1	環境都市工学科	構造物万能試験機
環境・防災研究室	42	1	環境都市工学科	
循環資源工学研究室	42	1	環境都市工学科	

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
合計	834			
専攻科関係実験室				
生産システム実験室	53	1	専攻科棟	
材料・物性実験室	70	1	専攻科棟	スパッタリング装置、ホジシステム
機器分析室	26	1	専攻科棟	高分解能核磁気共鳴測定装置
環境・微生物実験室	55	1	専攻科棟	高速液体クロマトグラフィー
低温室(前室含む)	25	1	専攻科棟	恒温恒湿装置
建築計画実習室	55	1	専攻科棟	電子セットライト
情報・制御実験室	50	1	専攻科棟	発振器、スペクトラムアナライザ
合計	334			
地域共同テクノセンター				
テクノラボラトリー	124	1	科学技術教育棟	
合計	124			

③実習工場および工業技術実習センターは表 4-5 の通りである。

表 4-5 実習工場の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
第1実習工場	319	1	機械工場	旋盤、フライス盤、作業台
第2実習工場	136	1	機械工場	マシニングセンター、形削盤
溶接実習工場+ポンプ室	57	1	機械工場	溶接実習装置
プログラム実習室	34	1	機械工場	電子計算機
工業技術実習センター	200	1	工業技術実習センター	ボール盤、旋盤、作業台

④演習室は表 4-6 の通りである。

表 4-6 演習室の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
製図室	174	1	機械工学科	ドラフター
製図室	154	1	環境都市工学科	

⑤図書館は表 4-7 の通りである。

表 4-7 図書館の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
開架書庫・閲覧室	409	1	図書館	閲覧席(一般席 80, 雑誌コーナー 8)
個人閲覧室	18	1	図書館	
閉架書庫	47	1	図書館	
談話ホール	47	1	図書館	
PC ルーム	46	1	図書館	

蔵書数は、和書 73,959 冊、洋書 13,018 冊の合計 86,977 冊である。
雑誌は、和雑誌 806 種類、洋雑誌 77 種類の合計 883 種類である。
視聴覚資料として、レコード、CD、ビデオテープ、DVD があり、個人用 AV 設備として視聴覚ブース 3 台がある。また、学習用パソコン 12 台と情報検索用パソコン 2 台を設置している。
図書館の所蔵検索は、館内の蔵書検索用パソコン及び校内の学内 LAN に接続されたパソコンでも可能であり、CD-ROM・DVD-ROM 検索も可能である。

図書館の開館時間は表 4-8 の通りであり、学生、職員はもとより、一般にも開放している。

表 4-8 図書館の開館時間

平日	8:40～20:00(長期休業中は 8:40～17:00)
土曜日	10:00～16:00(長期休業中は閉館)

⑥情報関連施設は表 4-9 の通りである。

表 4-9 情報関連施設の面積および主要設備

名称	面積(m ²)	室数	場所	設備
情報教育ルーム	88	1	情報処理センター	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,一太郎 2010,花子 2010,三四郎 2010,各種フリーソフト プリンタ:Epson LP-3000S 2 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
マルチメディアルーム	88	1	情報処理センター	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,一太郎 2010,花子 2010,三四郎 2010,各種フリーソフト プリンタ: Epson LP-3000S 2 台,大判プリンタ(A1) 1 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
LL 教室	165	1	図書館	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,各種フリーソフト プリンタ:Epson LP-3000S 4 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
コンピュータールーム	78	1	電気情報工学科棟	パソコン 50 台, プリンタ 2 台

本校では、情報処理センターを設置して、校内のネットワーク管理、情報処理教育などを整備し、学生の学習支援等のために開放している。情報処理センターの開館時間は平日 8:30～19:00 である。また、学生のインターネット等使用の便を図るために、図書館と学生寮内に端末を、それぞれ 12 台、7 台ずつ設置している。

⑦自習・休憩施設および食堂等は表 4-10 の通りである。

表 4-10 自習・休憩施設の面積および主要設備

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	設 備
スカイラウンジ	49	1	管理棟	
コミュニティホール(オープンスペース)	368	1	機械工学科	テーブル, ホワイトボード
コミュニティホール(オープンスペース)	373	1	電気情報工学科棟	テーブル, ホワイトボード
コミュニティホール(オープンスペース)	210	1	物質工学科	テーブル, ホワイトボード
コミュニティホール(オープンスペース)	322	1	環境都市工学科	テーブル, ホワイトボード
リフレッシュルーム	26	1	専攻科棟	
談話コーナー	60	1	厚生会館	テーブル
談話ホール	47	1	図書館	テーブル
食堂	180	1	厚生会館	
売店	45	1	厚生会館	
保健室	57	1	厚生会館	
学生相談室	29	1	厚生会館	

⑧体育施設は表 4-11 の通りである。

表 4-11 体育施設

名 称	面積(m ²)	室数	場 所	備 考
体育室	848	1	第 1 体育館	
体育器具庫(トレーニングルーム)	89	1	第 1 体育館	
測定室	44	1	第 1 体育館	
器具庫	23	1	第 1 体育館	
研究室	17	1	第 1 体育館	
体育室	840	1	第 2 体育館	
器具庫	96	1	第 2 体育館	
器具庫	21	1	第 2 体育館	
武道場	422	1	武道場	

上記の他に、陸上競技場 (400mトラック)、野球場、テニスコート(7面)、ハンドボールコートがある。

図書館の開館時間は表 4-8 の通りであり、学生、職員はもとより、一般にも開放している。

表 4-8 図書館の開館時間

平日	8:40～20:00(長期休業中は8:40～17:00)
土曜日	10:00～16:00(長期休業中は閉館)

⑥情報関連施設は表 4-9 の通りである。

表 4-9 情報関連施設の面積および主要設備

名称	面積(m ²)	室数	場所	設備
情報教育ルーム	88	1	情報処理センター	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,一太郎 2010,花子 2010,三四郎 2010,各種フリーソフト プリンタ:Epson LP-3000S 2 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
マルチメディアルーム	88	1	情報処理センター	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,一太郎 2010,花子 2010,三四郎 2010,各種フリーソフト プリンタ: Epson LP-3000S 2 台,大判プリンタ(A1) 1 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
LL 教室	165	1	図書館	パソコン:ThinkCentre A58 Small 50 台 OS アプリケーション: Windows 7,Ubuntu 9.04,Microsoft Office2010,Microsoft Math v3.0 Japanese,各種フリーソフト プリンタ:Epson LP-3000S 4 台 周辺機器:液晶プロジェクター等
コンピュータールーム	78	1	電気情報工学科棟	パソコン 50 台, プリンタ 2 台

本校では、情報処理センターを設置して、校内のネットワーク管理、情報処理教育などを整備し、学生の学習支援等のために開放している。情報処理センターの開館時間は平日 8:30～19:00 である。また、学生のインターネット等使用の便を図るために、図書館と学生寮内に端末を、それぞれ 12 台、7 台ずつ設置している。

(出典 JABEE 認定継続審査自己点検書 (2011 年受審) P. 120～125)

資料 8 - 1 - ① - 4

専攻科の特別研究および本科の卒業研究に際して使用するのには主に各学科の実験室である。そこで、各学科のプログラム 2 年生定員 40 名およびプログラム 3, 4 年の定員各 4 名を含め各学科 48 名として、学生 1 人当たりの実験室面積を算出した。結果は表 4-13 に示す通りであり、特別研究、卒業研究を行うには十分な面積を確保している。

表 4-13 学生 1 人当たりの実験室面積

実験室	面積(m ²)	学生一人当たりの面積(m ²)
機械工学科実験室	790	17.5
専攻科棟実験室	53	
電気情報工学科実験室	838	20.0
専攻科棟実験室	120	
物質工学科実験室	1,269	28.1
専攻科棟実験室	81	
環境都市工学科実験室	834	19.0
専攻科棟実験室	80	

(出典 JABEE 認定継続審査自己点検書 (2011 年受審) P. 125)

資料 8 - 1 - ① - 5

平成25年度後期 実験室、演習室等の使用状況

場所	月		火		水		木		金						
◎管理棟, 図書館, 情報処理センター, 階段教室棟, 科学技術教育棟															
情報処理センター (情報教育ルーム)	34	2B	情報処理Ⅱ	34	1C	情報処理	12	5M	ロボット工学	12	4E	ソフトウェア工学演習	12	2E	情報処理応用
	56	1E	情報処理基礎	5-7	5M	工学実験Ⅱ	56	4M	基礎研究	34	2B	基礎設計演習Ⅱ	56	1B	情報処理Ⅰ
(マルチメディアルーム)				34	4E	ソフトウェア工学演習						56	5E	コンピュータシミュレーション	
第1ゼミ室							3-6	1年	芸術Ⅰ						
第2ゼミ室							3-6	1年	芸術Ⅰ						
大講義室	12	5年	上級英語												
	78	4年	応用化学												
合併教室	34	5B	都市環境工学	78	4B	建設法規論	12	専1	環境科学	56	4B	環境衛生工学	56	4B	建築系演習Ⅱ
												78	1年	数学補習	
LL教室	12	2M	英語Ⅱ	12	4M	総合英語Ⅰ	12	3B	英語LL演習	12	専1	応用英語Ⅱ	12	5M	総合英語Ⅱ
	34	5C	総合英語Ⅱ	34	4B	総合英語Ⅰ	34	4E	総合英語Ⅰ	34	4C	総合英語Ⅰ	34	5E	総合英語Ⅱ
	56	2B	英語Ⅱ	56	2C	英語Ⅱ	56	3C	英語LL演習				56	5B	総合英語Ⅱ
				78	2E	英語Ⅱ									
化学実験室				12	1-2	化学Ⅰ				12	1-4	化学Ⅰ			
				34	2B	化学Ⅱ				34	1-1	化学Ⅰ	34	1-3	化学Ⅰ
				56	2M	化学Ⅱ				56	2E	化学Ⅱ			
物理実験室	56	2C	物理Ⅰ	56	2B	物理Ⅰ				78	2E	物理Ⅰ	56	2M	物理Ⅰ
301教室				56	専学生	日本語教育	34	5C	タンパク質工学	56	専学生	日本語教育	34	4C	生物化学工学
							56	専学生	日本語教育						
テクノコミュニティ	12	専1	社会経済史	12	3M	応用物理Ⅰ	34	専2	情報理論	56	専1	超精密加工工学	78	1年	英語補習
				34	3C	応用物理Ⅰ									
◎機械工学科															
実習工場	78	1M	工作実習Ⅰ	34	1E	ものづくり工作実習				567	2M	工作実習Ⅱ	567	3M	創造設計製作
機械製図室	34	2M	機械製図Ⅱ	34	1M	機械製図Ⅰ	34	3M	機械製図Ⅲ	56	5M	設計製図Ⅱ	78	4M	設計製図Ⅰ
機械工学実験室				567	5M	工学実験Ⅱ				567	4M	工学実験Ⅰ			
材料力学実験室										567	4M	工学実験Ⅰ			
流体力学実験室				567	5M	工学実験Ⅱ				567	4M	工学実験Ⅰ			
精密加工・精密測定室				567	5M	工学実験Ⅱ									
金属材料実験室										567	4M	工学実験Ⅰ			
創造工房				567	5M	工学実験Ⅱ				567	4M	工学実験Ⅰ	567	3M	創造設計製作
熟機関実験室				567	5M	工学実験Ⅱ									
生産システム実験室				567	5M	工学実験Ⅱ									
◎電気情報工学科															
コンピュータールーム	567	2E	基礎工学実験	567	4E	電気情報工学実験Ⅰ	12	5E	IC応用回路演習	34	3E	コンピュータ基礎	567	5E	電気情報工学実験Ⅱ
										567	3E	電気情報基礎実験			
電気計測実験室	567	2E	基礎工学実験	567	4E	電気情報工学実験Ⅰ				567	3E	電気情報基礎実験	567	5E	電気情報工学実験Ⅱ
電気機械実験室				567	4E	電気情報工学実験Ⅰ				567	3E	電気情報基礎実験			
電気工作実習室	567	2E	基礎工学実験							567	3E	電気情報基礎実験			
◎物質工学科															
無機・有機化学実験室										5-8	専2	創造工学演習	5-8	2C	有機化学実験
分析化学実験室	78	1C	物質工学基礎										5-8	3C	生物化学実験
物理化学実験室							5-8	専1	創造工学演習	5-8	専2	創造工学演習			
化学工学実験室	3-8	4C	化学工学実験												
◎環境都市工学科															
製図室	56	1B	ものづくり実習	56	5B	設計製図Ⅱ	34	4B	建築系演習Ⅰ				34	3B	意匠設計Ⅱ
コンクリート工学実験室				5-8	4B	環境都市工学実験実習									
水理実験室				5-8	4B	環境都市工学実験実習									
地盤工学実験室				5-8	4B	環境都市工学実験実習									

(出典 平成 25 年度後期時間割より作表)

資料 8 - 1 - ① - 6



(出典 総務課資料)

資料 8-1-②-1

秋田工業高等専門学校情報処理センター専門部会規則

(設置)

第1条 秋田工業高等専門学校情報処理センター運営委員会（以下「委員会」という。）の規則第7条第2項の規定に基づき、秋田工業高等専門学校情報処理センター専門部会（以下「専門部会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 専門部会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 情報教育に関すること。
- (2) 電子計算機の将来構想に関すること。
- (3) 情報ネットワークに関すること。
- (4) 情報セキュリティに関すること。
- (5) その他情報処理センターの業務に関すること。

(組織)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 情報処理センター副センター長
- (2) 教務主事補、学生主事補及び寮務主事補のうちから委員会の委員長が指名する者各1名
- (3) 図書館長補
- (4) 各学科・一般教科から選出された教員各1名
- (5) 総務課・学生課・技術教育支援センターから選出された職員 各1名
- (6) その他委員会の委員長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長・副部会長)

第5条 専門部会に部会長を置き、第3条第1号の委員をもって充てる。

2 部会長は、専門部会を招集し、その議長となる。

3 副部会長は、予め部会長が指名した委員とする。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 部会長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を求めることができる。

(報告)

第7条 部会長は、専門部会において審議された事項を統括し委員会の委員長に報告するものとする。

(庶務)

第 8 条 専門部会に関する庶務は、技術教育支援センターにおいて処理する。

(雑則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、専門部会の運営上必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

(出典 秋田工業高等専門学校規則集)

資料 8-1-②-2

秋田工業高等専門学校情報処理センター運営委員会規則

(設置)

第1条 秋田工業高等専門学校情報処理センター（以下「センター」という。）規則第4条第2項の規定に基づき、秋田工業高等専門学校情報処理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの組織及び運営に関すること。
- (2) センターの業務計画に関すること。
- (3) センターの利用に関し、各課の連絡調整に関すること。
- (4) 情報処理教育の計画推進に関すること。
- (5) 情報ネットワークに関すること。
- (6) 情報セキュリティに関すること。
- (7) その他センターの業務に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 各専攻長
- (4) 各学科長
- (5) 図書館長
- (6) 教務主事補の中から1名
- (7) 総務課長
- (8) 技術長
- (9) その他校長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長・副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 副委員長は、予め委員長が指名した委員とする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を求めることができる。

(専門部会)

第7条 委員会に、特定の事項を調査・検討及び点検・検証するため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会について必要な事項は、別に定める。

(報告)

第8条 委員長は、委員会において審議された事項を統括し校長に報告するものとする。

(庶務)

第9条 委員会に関する庶務は、技術教育支援センターにおいて処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営上必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(出典 秋田工業高等専門学校規則集)

カテゴリ 02 規則

タイトル 秋田工業高等専門学校情報処理センター規則

秋田工業高等専門学校情報処理センター規則

(趣旨)

第 1 条 秋田工業高等専門学校学則第 5 2 条第 2 項の規定に基づき，秋田工業高等専門学校情報処理センター（以下「センター」という。）の運営については，この規則の定めるところによる。

(目的)

第 2 条 センターは，秋田工業高等専門学校（以下「本校」という。）学生に対する情報処理教育，職員の学術研究及び本校運営に必要な校務の利用に供することを目的とする。

(業務)

第 3 条 センターにおける業務は，次のとおりとする。

- (1) 教育用電子計算機，パーソナルコンピュータ及び情報ネットワーク（以下「電子計算機システム」という。）の管理運営及び保守に関すること。
- (2) 電子計算機システムの利用に伴う調査，研究に関すること。
- (3) 情報処理教育に関すること。
- (4) その他情報センターに関すること。

(運営委員会)

第 4 条 センターの組織及び運営に関する事項等を審議するため，センター運営委員会を置く。

2 委員会について必要な事項は，別に定める。

(センター長)

第 5 条 センターにセンター長を置き，教員のうちから校長が任命する。

2 センター長の任期は 2 年とし，再任を妨げない。ただし，任期途中で交代する場合は，前任者の残任期間とする。

3 センター長は，校長の命を受け，センターの業務に関し，総括及び調整する。

4 センター長に事故あるときは，センター長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

5 センター長は，運営委員会に対し，専門委員会の審議事項並びにセンター業務について報告するものとする。

(技術スタッフ)

第 6 条 センターに技術スタッフを若干名置く。

2 技術スタッフは，主として電子計算機システム利用に伴う調査研究に関する業務を行う。

3 技術スタッフは，職員の中からセンター長が委嘱する。

4 技術スタッフの任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で交代する場合は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第7条 センターに関する庶務は、技術教育支援センターが行う。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第9条 この規則の改廃は、校長が行う。

附 則

1 この規則は、平成7年6月13日から施行する。

2 秋田工業高等専門学校電子計算機室規則(昭和49年4月1日制定)及び秋田工業高等専門学校電子計算機室運営委員会規程(昭和49年4月1日制定)は、廃止する。

3 第8条第2項の規定にかかわらず、最初にセンター長となる者の任期は、平成9年3月31日までとする。

4 第9条第4項の規定にかかわらず、最初に技術スタッフとなる者の任期は、平成8年3月31日までとする。

附 則

1 この規則は、平成9年1月21日から施行する。

2 第6条第3項及び第7条第3項の規定にかかわらず、最初の委員の任期は、平成10年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成15年11月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年6月7日から施行し、平成16年4月1日から摘要する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(出典 秋田工業高等専門学校規則集)

資料 8 - 1 - ② - 4

49 情報処理センター専門部会

部会長	情報処理センター副センター長 学 生 主 事 補	小 林 義 和
副部会長	教 務 主 事 補 電 気 情 報 工 学 科	竹 下 大 樹
委員	寮 務 主 事 補 電 気 情 報 工 学 科	平 石 広 典
"	図 書 館 長 補 物 質 工 学 科	西 野 智 路
"	機 械 工 学 科	野 澤 正 和
"	環 境 都 市 工 学 科	井 上 誠
"	人 文 科 学 系	小 林 貢
"	自 然 科 学 系	小 佐 藤 彰 彦
"	総 務 課	菅 原 聡
"	学 生 課	舘 岡 大 悟
"	技 術 教 育 支 援 セ ン タ ー	岡 部 克 利

(出典 秋田工業高等専門学校各種委員会名簿)

資料 8-1-②-5

48 情報処理センター運営委員会

委員長	センター長	山崎博之
副委員長	副センター長	小林義和
〃	生産システム工学専攻長	浅野清光
〃	環境システム工学専攻長	伊藤浩之
〃	機械工学科長	一田守政
〃	電気情報工学科長	高橋身佳
〃	物質工学科長	上松仁
〃	環境都市工学科長	桜田良治
〃	一般教科長(人文科学系) 図書館長	手島邦夫
〃	一般教科長(自然科学系)	吉井洋二
〃	教務主事補	竹下大樹
〃	総務課長	石川勉
〃	技術長	伊藤恵

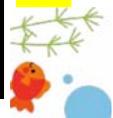
(出典 秋田工業高等専門学校各種委員会名簿)

6-②-1-8 家庭



情報処理センター使用時間割表 (前期) 平成25年度

開館時間 ☆情報処理センター/月～金→午前8:30～午後7:00 (長期休業中・テスト期間は午後5:00)
 ☆図書館 /月～金→午前8:40～午後8:00 /土→午前10:00～午後4:00



曜日	時間	1	2	3	4	5	6	7	8
月	8:45～9:35	1 コンピュータ製図 (3M) 木澤 情報教育	2 総合英語II (6E) 黒木 LL教室	3 総合英語I (4E) 小林貴 LL教室	4 情報処理I (1M) 木澤 情報教育	5 情報処理基礎 (1E) 平石 情報教育	6 英語II演習 (3E) 桑本 LL教室	7 基礎設計演習I (2B) 佐藤悟・守本 ヴルチメディア	8 総合英語II (5E) 黒木 LL教室
火	9:35～10:25	2 総合英語I (4M) チエラツ LL教室	3 情報処理II (3M) 若生 情報教育	4 総合英語I (4B) チエラツ LL教室	5 ソフトウェア工学 (4E) 竹下 情報教育	6 総合英語II (5C) 黒木 LL教室	7 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	8 総合英語I (4B) チエラツ LL教室	9 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育
水	10:35～11:25	3 総合英語I (4E) 小林貴 LL教室	4 情報処理I (1M) 木澤 情報教育	5 総合英語II (5M) 古河 LL教室	6 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	7 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	8 総合英語I (4B) チエラツ LL教室	9 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	10 総合英語II (5M) 古河 LL教室
木	11:25～12:15	4 総合英語II (2E) 平石 情報教育	5 ソフトウェア工学演習 (4E) 平石 情報教育	6 情報処理II (2M) 竹下 情報教育	7 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	8 総合英語II (5M) 古河 LL教室	9 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	10 総合英語II (2E) 平石 情報教育	11 総合英語II (5M) 古河 LL教室
金	13:05～13:55	5 総合英語II (5B) 古河 LL教室	6 情報処理II (2M) 竹下 情報教育	7 総合英語I (4C) 小林貴 LL教室	8 総合英語II (5E) 松村 ヴルチメディア	9 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	10 総合英語II (2E) 平石 情報教育	11 総合英語II (5M) 古河 LL教室	12 総合英語II (2C) 菅原 LL教室
土	13:55～14:45	6 総合英語II (5B) 古河 LL教室	7 情報処理II (2M) 竹下 情報教育	8 総合英語I (4C) 小林貴 LL教室	9 総合英語II (5E) 松村 ヴルチメディア	10 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	11 総合英語II (2E) 平石 情報教育	12 総合英語II (5M) 古河 LL教室	13 総合英語II (2C) 菅原 LL教室
日	14:45～15:35	7 総合英語II (5B) 古河 LL教室	8 情報処理II (2M) 竹下 情報教育	9 総合英語I (4C) 小林貴 LL教室	10 総合英語II (5E) 松村 ヴルチメディア	11 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	12 総合英語II (2E) 平石 情報教育	13 総合英語II (5M) 古河 LL教室	14 総合英語II (2C) 菅原 LL教室
月	15:35～16:25	8 総合英語II (5B) 古河 LL教室	9 情報処理II (2M) 竹下 情報教育	10 総合英語I (4C) 小林貴 LL教室	11 総合英語II (5E) 松村 ヴルチメディア	12 情報処理II (2M) 小林義和 情報教育	13 総合英語II (2E) 平石 情報教育	14 総合英語II (5M) 古河 LL教室	15 総合英語II (2C) 菅原 LL教室

情報教育：情報教育ルーム ヴルチメディア：ヴルチメディアルーム LL：LL教室

平成25年3月改訂



情報処理センター使用時間割表 (後期) 平成25年度

開館時間 ☆情報処理センター/月～金→午前8:30～午後7:00 (長 休業中・テスト期間)午後5:00)

☆図書館 /月～金→午前8:40～午後8:00 /土→午前10:00～午後4:00

時間	1	2	3	4	5	6	7	8
曜日	8:45 ~ 9:35	9:35 ~ 10:25	10:35 ~ 11:25	11:25 ~ 12:15	13:05 ~ 13:55	13:55 ~ 14:45	14:55 ~ 15:45	15:45 ~ 16:35
月	英語Ⅱ (2M) 古河 LL教室		総合英語Ⅱ (5C) 黒木 LL教室	英語Ⅱ (2B) 古河 LL教室	英語Ⅱ (2B) 古河 LL教室			
火	総合英語Ⅰ (4M) チエッツ LL教室		総合英語Ⅰ (4B) チエッツ LL教室	英語Ⅱ (2C) 菅原隆行 LL教室	英語Ⅱ (2C) 菅原隆行 LL教室	英語Ⅱ (2E) 菅原隆行 LL教室		
水	ロボット工学 (5M) 木澤 情報教育			基礎研究 (4M) M科教員 情報教育				
木	英語LL演習 (3B) 栗本 LL教室		総合英語Ⅰ (4E) 小林真 LL教室	英語LL演習 (3C) 黒木 LL教室				
金	応用英語Ⅱ (専攻科1年) 小林真 LL教室		総合英語Ⅰ (4C) 小林真 LL教室	情報処理Ⅰ (1B) 間所 情報教育				
	情報処理応用 (2E) 竹下 情報教育			情報処理Ⅰ (1M) 小林義和 ヴルチメディア				
	総合英語Ⅱ (5M) 古河 LL教室		総合英語Ⅱ (5E) 黒木 LL教室	情報処理Ⅰ (1M) 小林義和 ヴルチメディア	総合英語Ⅱ (5B) 古河 LL教室			

情報教育：情報教育ルーム ヴルチメディア：ヴルチメディアルーム LL：LL教室

平成25年8月改訂

(出典 平成25年度第2回専門部会会議資料)

資料 8 - 1 - ② - 7

情報処理センター各室利用者数

情報処理センター各室利用者数

資料 2

マルチメディアルーム (旧パソコン室)

月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4月	1,204	1,590	449	476	602
5月	513	868	480	730	883
6月	686	1,119	702	525	809
7月	778	1,152	824	541	686
8月	265	462	394	491	375
9月	133	81	138	456	254
10月	562	725	642	899	546
11月	595	765	624	764	482
12月	388	508	420	523	366
1月	513	583	361	678	418
2月	501	533	582	484	478
3月		281	441	462	
計	6,135	8,664	6,054	7,027	5,898

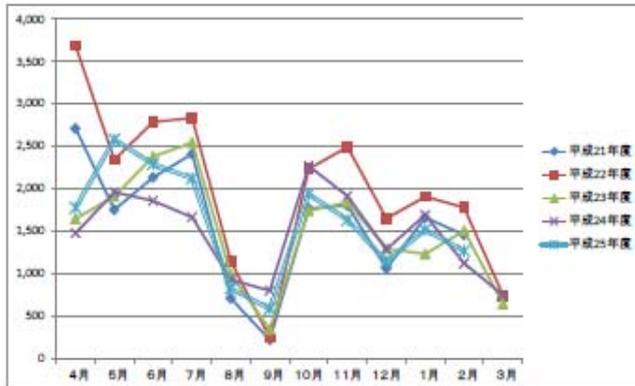
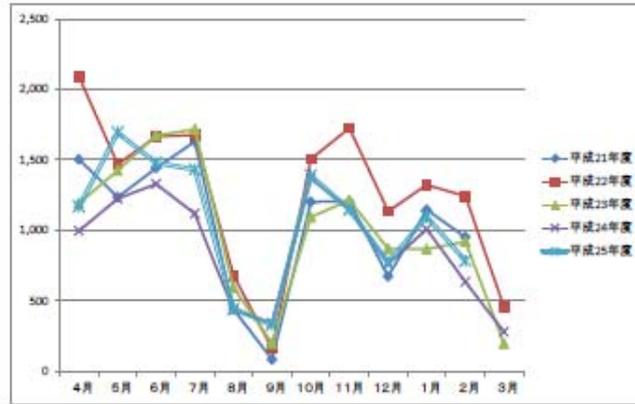
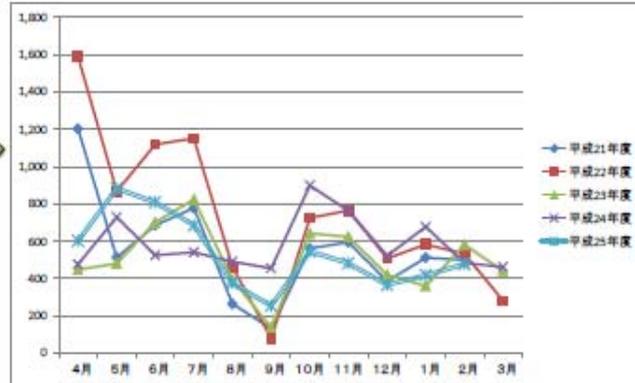
情報教育ルーム (旧教育用端末室)

月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4月	1,504	2,092	1,194	997	1,169
5月	1,236	1,470	1,427	1,225	1,694
6月	1,443	1,666	1,673	1,331	1,480
7月	1,630	1,678	1,718	1,120	1,432
8月	442	682	594	435	446
9月	85	162	200	341	329
10月	1,203	1,506	1,094	1,368	1,389
11月	1,209	1,725	1,214	1,347	1,148
12月	672	1,137	870	764	775
1月	1,146	1,322	868	1,010	1,057
2月	952	1,242	921	614	785
3月		458	197	281	
計	11,517	15,138	11,967	10,647	11,742

情報処理センター利用者数 (2室合計)

総計 (情報教育ルーム & マルチメディアルーム)

月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4月	2,707	3,682	1,642	1,473	1,771
5月	1,749	2,337	1,907	1,955	2,577
6月	2,129	2,784	2,375	1,855	2,289
7月	2,408	2,829	2,541	1,661	2,118
8月	706	1,143	987	925	821
9月	218	243	338	797	583
10月	1,765	2,231	1,736	2,267	1,935
11月	1,800	2,490	1,838	1,911	1,630
12月	1,060	1,645	1,290	1,285	1,141
1月	1,659	1,905	1,228	1,688	1,515
2月	1,453	1,775	1,503	1,118	1,263
3月		739	638	743	
計	17,652	23,802	18,021	17,674	17,640



(出典 平成 25 年度第 2 回専門部会会議資料)

主なインストールアプリケーション【Windows7】【Ubuntu10.0. 4】

Windows 7 主なインストールアプリケーション

(2013/06/25 現在)

ソフト名	インストール済みバージョン	種別	備考
Libre Office	4.0.4.2	オフィスソフトウェア	フリーソフト
Maxima	5.26.0	数式処理システム	フリーソフト
Microsoft Draw	2.5 J	化学構造描画	アカデミック版フリーソフト
MetasequoiaLE	R2.4	3Dモデルモデラー	フリーソフト
Microsoft Expression Design 4	8.0.31217.1	ページレイアウトツール	有償
Microsoft Math	3.0	数学、科学教育支援	フリーソフト
Microsoft Mathematics	4.0	数学、科学教育支援	フリーソフト
Microsoft Office	2010 Professional Plus	オフィスソフトウェア	MS包括契約フリーソフト
Microsoft Silverlight	5.1.20125.0	Webアプリケーション	無償
Microsoft Visual Basic 2008 Express Edition SP1	9.0.30729.1	Visual Basic統合開発ツール	無償
Microsoft Visual C# 2008 Express Edition SP1	9.0.30729.1	Visual C#統合開発ツール	無償
Microsoft Visual C++ 2008 Express Edition SP1	9.0.30729.1	Visual C++ランタイム	無償
Mozilla Firefox	17.0.6esr	ウェブブラウザ	フリーソフト
Netgraph for Windows	6.03.53	ネットワーク分析	フリーソフト
Paint.NET	3.5.10	高機能ビジュアルグラフィック	フリーソフト
Poderosa	4.1.0 全部入り版	ターミナルエミュレータ	フリーソフト
PGY-Ray for Windows	3.6.2	レイアウトソフト	フリーソフト
QuickTime	7.7.4	マルチメディア	フリーソフト
R for Windows	2.14.2	統計解析	フリーソフト
SciLab	4.1.2	数値計算	フリーソフト
SciLabWorks	2012 SP5	数値計算	フリーソフト
Saitohvi 2	2.0.1	ユーティリティ	フリーソフト
Symyx Draw	4.0.0	化学構造式	無償
Takaoソフト	003.02.01	ソフトウェア再生	フリーソフト
ViG media player	2.0.7	マルチメディア再生	フリーソフト
Windows	5.1.3	FTP、SFTP	フリーソフト
zerotype	1.05.2	ネットワーク	フリーソフト
一太郎	1.0.1.8	ワープロ	JUST SITE 2010
花子	1.0.1.2	画像描画	JUST SITE 2010
三四郎	1.0.5.0	表計算	JUST SITE 2010
十進BASIC	7.5.9	BASIC	フリーソフト
美佳のタイポレーナ	2.06	タイポグラフィ	フリーソフト

更新予定バージョンが空欄の場合は、今回の更新では現バージョンからの変更は行いません。

Ubuntu 10.04 主なインストールアプリケーション

(2013/06/25 現在)

ソフト名	インストール済みバージョン	読み方	種類	備考
Adobe Flash Player	11.2.202.280	アドビフラッシュプレイヤー	プラグイン	フリーソフト
Adobe Reader	9.5.4	アドビリーダー	PDF閲覧	フリーソフト
EAQE	5.7.0	イーグル	電気回路	フリーソフト
Enacs	23.1	イーヌアックス	テキストエディタ	高機能・カスタマイズ性が高い
FDclone	3.00c	エフディークローン	フレイラー	フリーソフト
Firefox	20.0	ファイヤーフォックス	ウェブブラウザ	オープンソース
fort77	1.15	フォートナナナ	コンパイラ	オープンソース
FreeMat	4.0.2	フリーマツ	数値解析	MATLAB互換性あり
g++	4.4.4.3	ジーplusplus	コンパイラ	オープンソース
gcc	4.4.4.3	ジーシーシー	コンパイラ	オープンソース
gfortran	4.4.4.3	ジーフォートラン	コンパイラ	オープンソース
GLT		ジーエルユーティー	C言語ライブラリ	OpenGL準拠
GNU Octave	3.2.3	ジーエヌ オクターブ	数値解析	MATLAB互換性あり
Google Chrome	27.0.1453.93	グーグルクロム	ウェブブラウザ	フリーソフト
Inkscape	0.47	インクスケープ	ベクトル形式ドロー	オープンソース
LaTeX		ラテク	組版処理	
Leafpad	0.8.17	リーフパッド	テキストエディタ	文字コード対応
LibreOffice	4.0.2	リブレオフィス	オフィススイート	フリーソフト
Maxima	5.20.1	マキシマ	数式処理システム	オープンソース
NetBeans	7.1.1	ネットビーンズ	統合環境	フリーソフト
Netraph-GTK	6.03.51	エヌグラフ	高機能グラフ作成	フリーソフト
Sci Lab	5.2.1	サイラボ	数値計算	MATLAB類似性あり
sun-java7-jdk	7.21	サンジャバナナジーディーケー	コンパイラ	フリーソフト

更新予定バージョンが空欄の場合は、今回の更新では現バージョンからの変更は行いません。

(出典 情報処理センター資料)

資料 8 - 1 - ② - 9

ALC ネットワークアカデミーの HP トップ画面コピー



(出典 秋田工業高等専門学校学生用ホームページより)

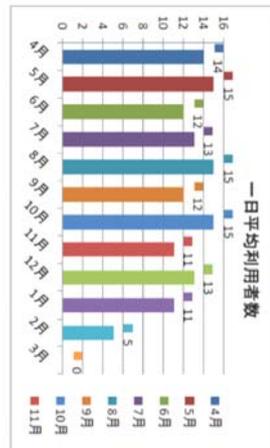
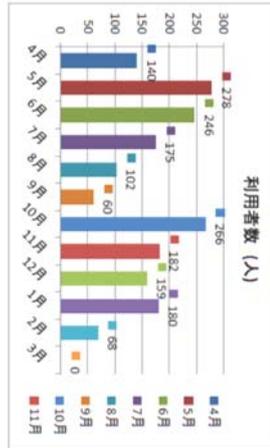
資料 8 - 1 - ② - 10

平成 24 年度情報処理センター時間外会館利用統計 (平成 26 年 3 月現在)

平成24年度情報処理センター時間外開館利用統計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数 (人)	140	278	246	175	102	60	296	182	159	180	68	-
開館日数	10	18	20	13	7	5	18	16	12	17	13	-
平均/日 (人)	14	15	12	13	15	12	15	11	13	11	5	-

総計(延べ人数)	1858 (人)
総計 (1日平均)	12.5 (人)



(出典 平成 25 年度第 2 回専門部会会議資料)

サイボウズトップ画面

秋田高等専門学校 秋田高等専門学校 akg.akita-nct.local

名前
 (あなたのお名前) ▼

パスワード

ログイン

- [KOALA・サイトス \(意見箱送信フオ...](#)
- [旅費システム\(財務係\)](#)
- [財務会計システム\(調達係\)](#)
- [Web給与明細\(財務係\)](#)
- [高専機構用パスワード変更 \(財務...](#)
- [高専機構意見箱への回答](#)
- [保護者・教職員意見箱 \(総務課\)](#)
- [IT資産管理システム \(Asset View...](#)
- [国立高等専門学校機構](#)
- [Eメールパスワード変更 \(教職員向...](#)
- [教職員用ウェブメール \(wm.akita...](#)
- [秋田高専GoogleApps \(Gmail\)](#)
- [学生向けホームページ](#)
- [秋田高専公式ウェブページ](#)
- [情報処理センター 障害・メンテナ...](#)
- [秋田高専図書館ホームページ](#)
- [クライアント用フリーウェア Cyb...](#)
- [Adobe AIR のダウンロード](#)
- [サイボウズオンラインマニュアル](#)
- [Cybozu Desktopマニュアル](#)
- [サイボウズよくある質問と答え](#)
- [サイボウズコミュニティ](#)

サイボウズ Office Version 9.3.1 20130703180841 Copyright (C) 2011-2013 Cybozu

(出典 秋田高専サイボウズポータルサイト)

秋田工業高等専門学校

情報セキュリティポリシー

平成 16 年 4 月改訂

秋田工業高等専門学校情報セキュリティポリシー

目次

I 情報セキュリティの基本方針	1 頁
1. 情報セキュリティの基本方針	
2. 定義	
3. 対象範囲	
II 対策基準	
1. 組織・体制	
(1) 管理・運用組織の構成	
① 最高情報セキュリティ責任者等	2 頁
② 情報処理センター運営委員会	
③ 情報処理センター専門委員会	
(2) 不正者等への対応	
2. 情報の分類と管理	
(1) アクセス制限	
(2) 情報の分類	
① 非公開情報	
② 公開情報	3 項
(3) 情報の公開化	
3. 物理的セキュリティ	
(1) クライアント機器	
① クライアント機器の定義	
② ネットワークへの接続	
③ 保守	
(2) サーバ機器	
① サーバ機器の定義	
② 管理区域の設置	

(出典 秋田工業高等専門学校セキュリティポリシーより抜粋)

秋田工業高等専門学校情報セキュリティ管理規則

目次

- 第1章 総則（第1条－第9条）
- 第2章 情報システムの利用（第10条－第14条）
- 第3章 情報の取扱い（第15条－第17条）
- 第4章 物理的及び環境的セキュリティ対策（第18条－第22条）
- 第5章 教育（第23条）
- 第6章 情報セキュリティインシデント対応及び非常時行動計画（第24条・第25条）
- 第7章 調達、ソフトウェア開発及び外部委託（第26条－第28条）
- 第8章 違反と例外措置（第29条・第30条）
- 第9章 評価、見直し及び監査協力（第31条－第33条）
- 第10章 その他（第34条－第38条）

第1章総則

（目的）

第1条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則（機構規則第98号。以下「対策規則」という。）に基づき、独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校（以下「本校」という。）における情報セキュリティ対策に関する全般的事項及び管理的事項を定めることにより、情報セキュリティの維持向上に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この規則における用語の定義は、この規則で定めるものを除き、「対策規則」別表及び独立行政法人国立高等専門学校機構情報格付規則（機構規則第99号）の定めるところによる。

（適用範囲）

第3条 この規則を適用する情報資産の範囲は、機構が扱う情報及び本校の情報システムとする。

2 本校の情報システムの範囲は、別表1のとおりとする。

第4条 本校の教職員の範囲は、別表2のとおりとする。

2 本校の学生の範囲は、別表3のとおりとする。

3 本校の教職員、学生、及び第11条第1項に基づき情報資産を本校の業務遂行を目的として一定期間にわたり継続的に利用する許可を得て利用する者を「経常的利用者」と称する。

（出典 秋田工業高等専門学校情報セキュリティ管理規則より抜粋）

秋田工業高等専門学校情報セキュリティ推進規則

目次

第1章 総則（第1条・第2条）

第2章 情報システムのライフサイクル

第1節 設置時（第3条-第11条）

第2節 運用時（第12条-第18条）

第3節 運用終了時（第19条・第20条）

第4節 PDCA サイクル（第21条・第22条）

第3章 要保護情報及びそれを取扱う情報システム（第23条-第25条）

第4章 アクセス制御（第26条-第28条）

第5章 アカウント管理（第29条-第32条）

第6章 ログ管理と通信の監視（第33条-第35条）

第7章 その他（第36条）

第1章 総 則

（目的）

第1条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則（機構規則第98号。以下「対策規則」という。）に基づき、独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校（以下「本校」という。）における情報セキュリティ対策に関する専門的及び技術的な事項について定めることにより、情報セキュリティの維持向上に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この規則における用語の定義及び範囲は、この規則に定めるものを除き、対策規則別表、独立行政法人国立高等専門学校機構情報格付規則（機構規則第99号）及び秋田工業高等専門学校情報セキュリティ管理規則（以下「管理規則」という。）の定めるところによる。

第2章 情報システムのライフサイクル

第1節 設置時

（セキュリティホール対策）

第3条 情報セキュリティ推進責任者（以下「推進責任者」という。）は、情報システムのセキュリティホールに関する情報を収集し、書面として整備するものとする。

2 推進責任者は、前項の規定に基づき入手した情報から、当該セキュリティホールが情報システムにもたらすリスクを分析した上で、対策を行うものとする。

（不正プログラム対策）

（出典 秋田工業高等専門学校情報セキュリティ推進規則より抜粋）

秋田工業高等専門学校情報セキュリティ教職員規則

目次

- 第 1 章 総則（第 1 条—第 8 条）
- 第 2 章 情報システムの利用（第 9 条—第 21 条）
- 第 3 章 情報の取扱い（第 22 条—第 31 条）
- 第 4 章 物理的及び環境的セキュリティ対策（第 32 条—第 35 条）
- 第 5 章 教育（第 36 条）
- 第 6 章 情報セキュリティインシデント対応（第 37 条）
- 第 7 章 調達、ソフトウェア開発及び外部委託（第 38 条）
- 第 8 章 違反と例外措置（第 39 条・第 40 条）
- 第 9 章 自己点検及び見直し（第 41 条）
- 第 10 章 管理的業務（第 42 条—第 46 条）
- 第 11 章 その他（第 47 条）

第 1 章総則

(目的)

第 1 条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規程（機構規則第 98 号。以下「対策規則」という。）に基づき、独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校（以下「本校」という。）における情報セキュリティの維持向上のために本校の教職員が遵守すべき事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この規則における用語の定義は、この規則で定めるものを除き、対策規則別表、独立行政法人国立高等専門学校機構情報格付規則（機構規則第 99 号。以下「格付規則」という。）及び本校情報セキュリティ管理規則（以下「管理規則」という。）の定めるところによる。

(適用範囲)

第 3 条 この規則は本校の情報システムを対象とする。

2 本校の情報システムの範囲は管理規則別表 1 のとおりとする。

第 4 条 本校の教職員の範囲は、管理規則別表 2 のとおりとする。

2 本校の学生の範囲は、管理規則別表 3 のとおりとする。

3 本校の教職員、学生及び第 42 条に基づき情報資産を本校の業務遂行を目的として一定期間にわたり継続的に利用する許可を得て利用する者を「経常的利用者」と称する。

4 第 43 条に基づき情報資産を臨時に利用する許可を得て利用する者を「臨時利用者」と称する。

（出典 秋田工業高等専門学校情報セキュリティ教職員規則より抜粋）

秋田工業高等専門学校情報セキュリティ学生規則

目次

- 第 1 章 総則（第 1 条—第 7 条）
- 第 2 章 情報システムの利用（第 8 条—第 1 4 条）
- 第 3 章 物理的及び環境的セキュリティ対策（第 1 5 条）
- 第 4 章 教育（第 1 6 条）
- 第 5 章 情報セキュリティインシデント対応（第 1 7 条）
- 第 6 章 その他（第 1 8 条）

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則（機構規則第 9 8 条。以下「対策規則」という。）に基づき、独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校（以下「本校」という。）における情報セキュリティの維持向上のために本校の学生が遵守すべき事項を定めるものである。

（定義）

第 2 条 この規則における用語の定義は、この規則で定めるものを除き、「対策規則」別表及び本校情報セキュリティ管理規則（以下「管理規則」という。）の定めるところによる。

（適用範囲）

第 3 条 この規則は本校内で学生が使用する情報システム（学生個人が所有する情報システムを本校内で使用する場合を含む。）を対象とする。

第 4 条 本校の学生の範囲は、次の各号のとおりとする。

- 一 本科生
- 二 専攻科生
- 三 研究生
- 四 科目等履修生
- 五 研修生

（一般的遵守事項）

第 5 条 本校の学生は、情報セキュリティ関連法令、独立行政法人国立高等専門学校機構の情報セキュリティポリシー及び実施規則、並びに本校の規則等（各施設の利用規則、要領、心得等を含む。）を遵守しなければならない。

（出典 秋田工業高等専門学校情報セキュリティ学生規則より抜粋）

情報モラル

秋田工業高等専門学校 情報モラル講義資料作成委員会

山本昌志 木澤悟 佐藤彰彦 佐藤悟

初版:2006年3月31日 改訂2版:2011年3月31日

概要

本テキストは、情報関係の第一回目の講義で使用する。これと PowerPoint を用いて、新入生にコンピュータや携帯電話のような情報機器を使うときの基本的なモラルを説明する。情報モラルの取り扱う範囲は広いが、特に最初に注意すべきことを中心にまとめている。情報モラルを学習する理由と現代のネット社会での情報の特徴を最初に述べ、重要と思われる具体的なモラルの内容を説明している。ここで取り上げている情報モラルは、情報の信憑性、出会い系サイト、著作権、個人情報の流出、不正アクセス、パスワード、電子メールと携帯電話のネチケット、ネット中毒に関することである。100分の講義1回で全てを述べることは不可能なので、講師が重要と考える内容を選択することになる。あるいは、2回に分けてもよい。本テキストは毎年改訂し、少しずつ良いものに仕上げたい。

1 本日の学習内容

情報処理関係の第1回目の講義で、「情報モラル」について説明する。情報モラルを web で検索すると、

情報化社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度

と書かれているページが多い。このことから、情報機器を使う場合の道徳と考えても差し支えないだろう。それには多岐にわたる内容が含まれ、たった1回の講義(100分)で、全てを説明することは不可能である。そこで、諸君のような初心者特に重要と思われる項目について説明する。内容は、以下の通りである。

- なぜ情報モラルを学習するか?
- 現代の情報の特徴
- 情報モラル
 - － 情報受信
 - * 受信した情報は大丈夫なの
 - * 出会い系サイトは危険がいっぱい
 - － 情報の発信
 - * 著作権を侵害していないか?

(出典 情報モラル教育資料より抜粋)

授 業 科 目	必・選	学 年	学科(組) 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
情報処理基礎 Basic Information Processing	必修	1年	E	平石 広典	2	通年週2時間 (合計60時間)	
[教 材] 教科書：「C言語によるプログラミング 基礎編 第2版」 内田智史 監修 オーム社 その他： 自製プリントの配布							
[授業の目標と概要] 実践的かつ専門的な知識と技術の基礎となる専門基礎学力を修得するため、C言語を用いてコンピュータプログラミングの基礎を学習する。また、コンピュータの使い方、およびプログラム作成の基礎事項を修得する。							
[授業の進め方] 講義形式、および演習形式で行う。必要に応じて適宜小テストを実施し、また演習課題、レポート、宿題を課す。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。なお、中間試験は授業時間内に実施する。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
1 PC 基本操作とプログラミング基礎							
(1) 情報モラル		1	情報機器を使うときの基本的なモラルが理解できる。				
(2) プログラミング基礎		1 2	C言語を使った基本的なプログラムの作成と実行ができる。				
前期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	前期中間試験の解説と解答				
2 C言語プログラミング							
(1) 変数と式		5	変数が理解でき、式を用いたプログラムが書ける。				
(2) 制御の流れ1		8	条件判断処理を用いたプログラムが書ける。 繰り返し処理を用いたプログラムが書ける。				
前期末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	前期末試験の解説と解答、および授業アンケート				
(3) 制御の流れ2		4	条件判断処理と繰り返し処理を用いたプログラムが書ける。 無条件分岐、条件演算子を用いたプログラムが書ける。				
(4) 関数		1 0	関数の有用性が理解でき、プログラムが書ける。				
後期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	後期中間試験の解説と解答				
(5) 配列		7	配列を使うことができる。				
(6) 文字列		6	文字列を取り扱うことができる。				
学年末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	学年末試験の解説と解答、本授業のまとめ、授業アンケート				
[到達目標] 実践的かつ専門的な知識と技術の基礎となる専門基礎学力を修得するため、C言語の文法を一通り理解し、基礎的なデータ構造やアルゴリズムを使ったプログラムが書けるようになること。また、情報処理や数学、電気・電子工学の問題にプログラムが適用できるようになること。							
[評価方法] 合格点は50点である。各中間、期末の成績は、試験結果70%、小テスト・演習課題・レポート・宿題を30%で評価する。特に、レポート・宿題の未提出者は単位取得が困難となるので注意すること。 学年総合成績 = (前期中間成績 + 前期末成績 + 後期中間成績 + 学年末成績) / 4							
[認証評価関連科目] 情報処理応用、論理回路、コンピュータ基礎、ソフトウェア工学、ソフトウェア工学演習、IC応用回路、IC応用回路演習、コンピュータシミュレーション、情報技術							
[J A B E E 関連科目]							
[学習上の注意] プログラムの動作を理解するためには、1行1行自分の頭で根気強く考え、その流れを理解することが重要である。また、理解した後、実際に自らプログラムを書き、その技術を習得しなければならない。							
達成しようとしている 基本的な成果	(D)	秋田高専学習 ・教育目標			J A B E E 基準		

2014/1/13

インターネットとの上手な付き合い方

— 情報セキュリティポリシーと個人情報 —

平成27年度新入生合宿研修
講演資料

最近の携帯電話

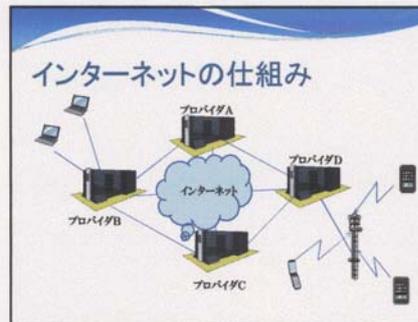
- フィーチャーフォン
- ↓
- スマートフォン

- 1) i-Phone
- 2) Android
- 3) Black Berry 小堀/Line symbol/電でMRC6
- 4) Windows



スマートホンの特徴

- 良い点
 - インターネット端末としての機能が充実。ほぼ、パソコンと同等。
 - 大容量の情報を蓄えられる。
 - 通話が可能
- 悪い点
 - 上記全てといっても過言ではない。特に、インターネット端末としての機能が充実している点。



アクセスログ

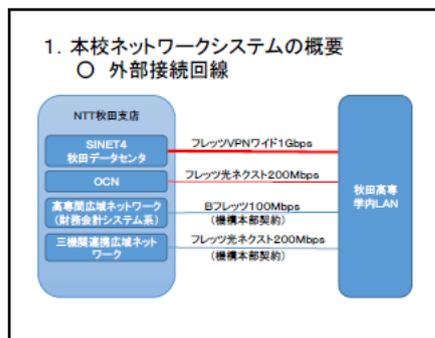
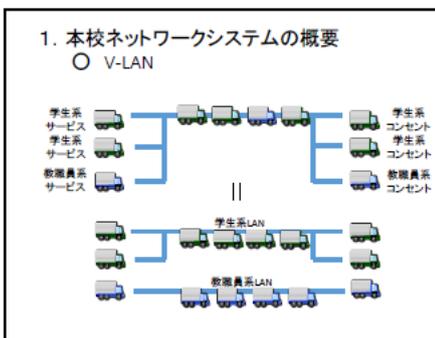
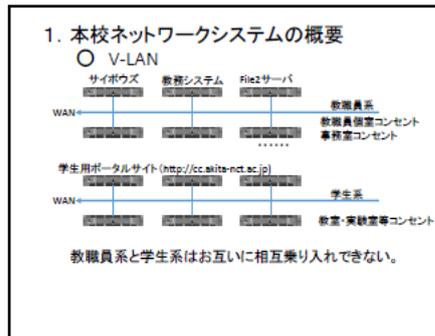
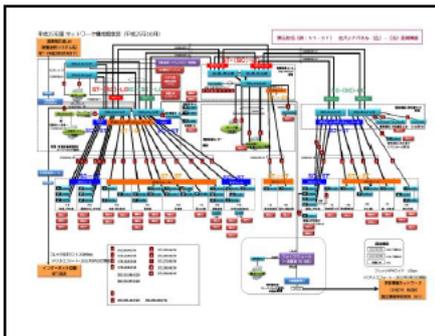
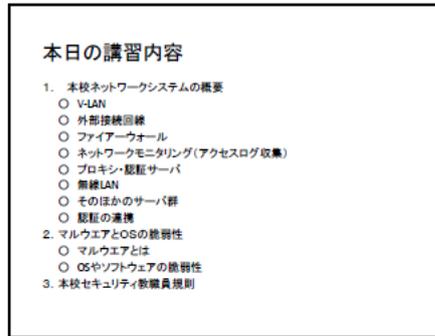
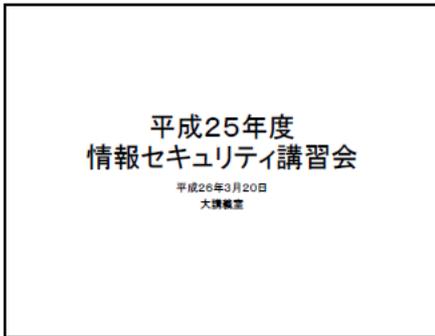
各プロバイダには、ログ管理サーバがおかれており、そのログが、いつ、どの端末を利用して、どこへ接続したか、どんなデータのやりとりをしたかを記録している。



インターネットで出来ること

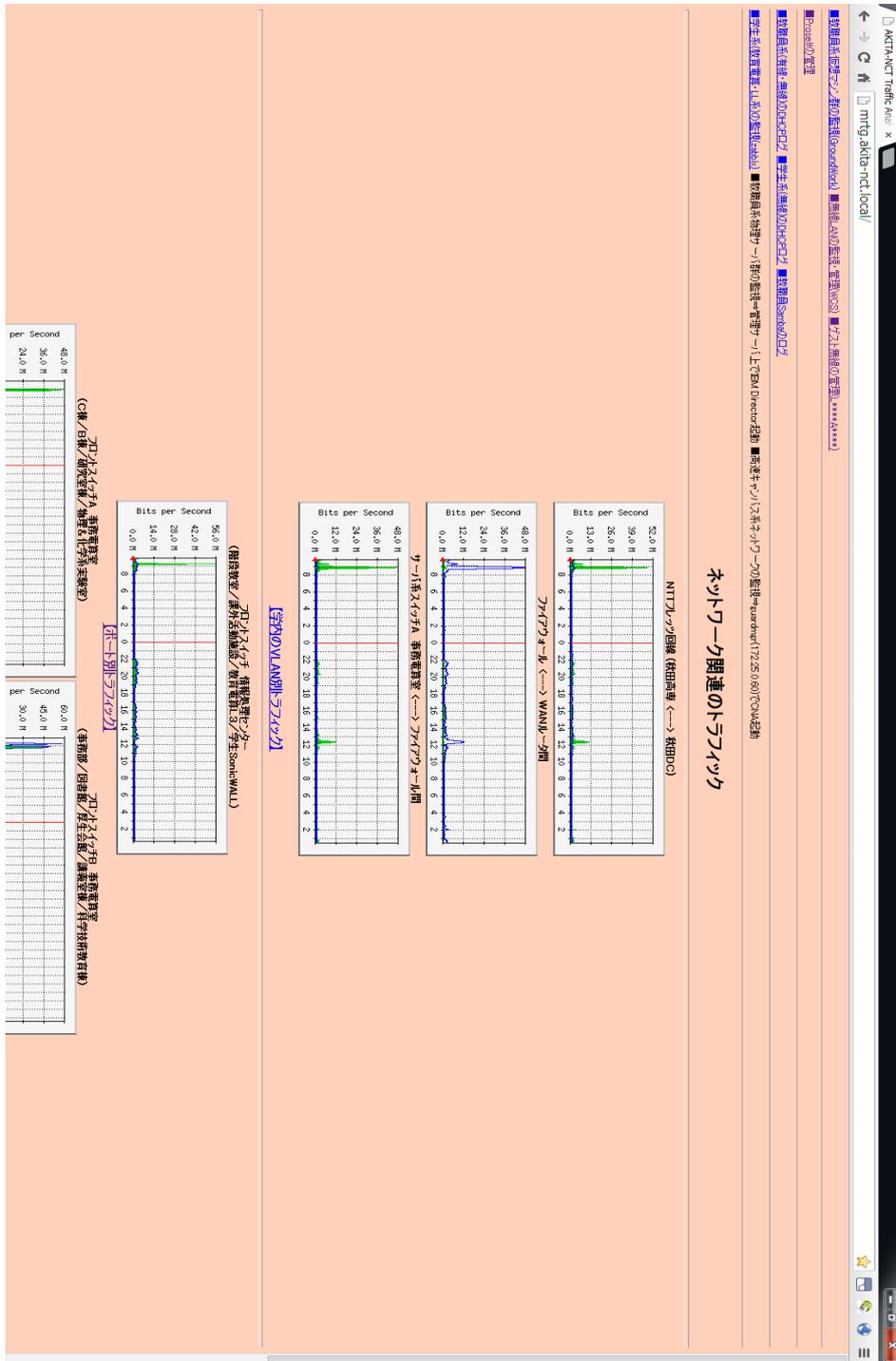
<ul style="list-style-type: none"> • ホームページ検索 <ul style="list-style-type: none"> ウイルス感染 有害サイト(悪戯・爆弾・自殺・薬物等) ワンクリック詐欺 フィッシング • 電子メール <ul style="list-style-type: none"> 迷惑メール ウイルス感染 詐欺情報 チェーンメール 誤送・中毒マメ等 • SNS(ソーシャルネットワークサービス) <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の漏洩 不用意発言による炎上 出払い系らしき犯罪 	<ul style="list-style-type: none"> • ブログ・プロフィールの作成 <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の漏洩 肖像権侵害 誹謗中傷 不用意発言による炎上 • ホームページの作成 <ul style="list-style-type: none"> 著作権侵害 肖像権侵害 不用意発言による炎上 • ソフトウェアや各種データのダウンロード <ul style="list-style-type: none"> 著作権侵害 重要データの漏洩 • 同アップロード <ul style="list-style-type: none"> 著作権侵害 重要データの漏洩 • その他
---	---

(出典 新入生合宿研修講演会資料より抜粋)



(出典 情報セキュリティ講習会資料より抜粋)

Traffic Analysis



(出典 MRTG 解析グラフ)

秋田工業高等専門学校 情報処理センター

いんぷお

Vol. 44 平成 25 年 12 月 24 日(火)

▼ Windows XP、Office 2003 の期限切れについて

Windows XP、Microsoft Office 2003 について、**2014 年 4 月 8 日**にマイクロソフトのサポートが終了します。サポート終了前まで、**Windows7 Service Pack1、Office2010 Service Pack 2**以降へアップグレードをお願いします。

OS、および、Office のインストールディスクは、学術情報係で貸し出しております。なお、シリアルキーの入力について、PC のネットワーク接続設定をした後、学術情報係へ入力をお願いします。

参考)平成26年4月のサポート終了後にWindows XP を使用することの危険性 (警察庁、PDF)

http://www.npa.go.jp/cyber/kanminboard/siryu/report_xp.pdf

▼電子黒板の導入について

情報処理センター2室、LL教室、E科PCルームに電子黒板(80型)が設置されました。電子黒板では、パソコンの画面を電子黒板上に映し、パソコンの操作をすることができます。黒板と同じように書くこともできますし、書き込んだ後パソコンに保存しておくこともできます。全ての設定が終了後、教職員向けにスムーズに使用するために講習会を行う予定です。

↓ 2013 年 9 月 LL 教室へ導入作業の様子



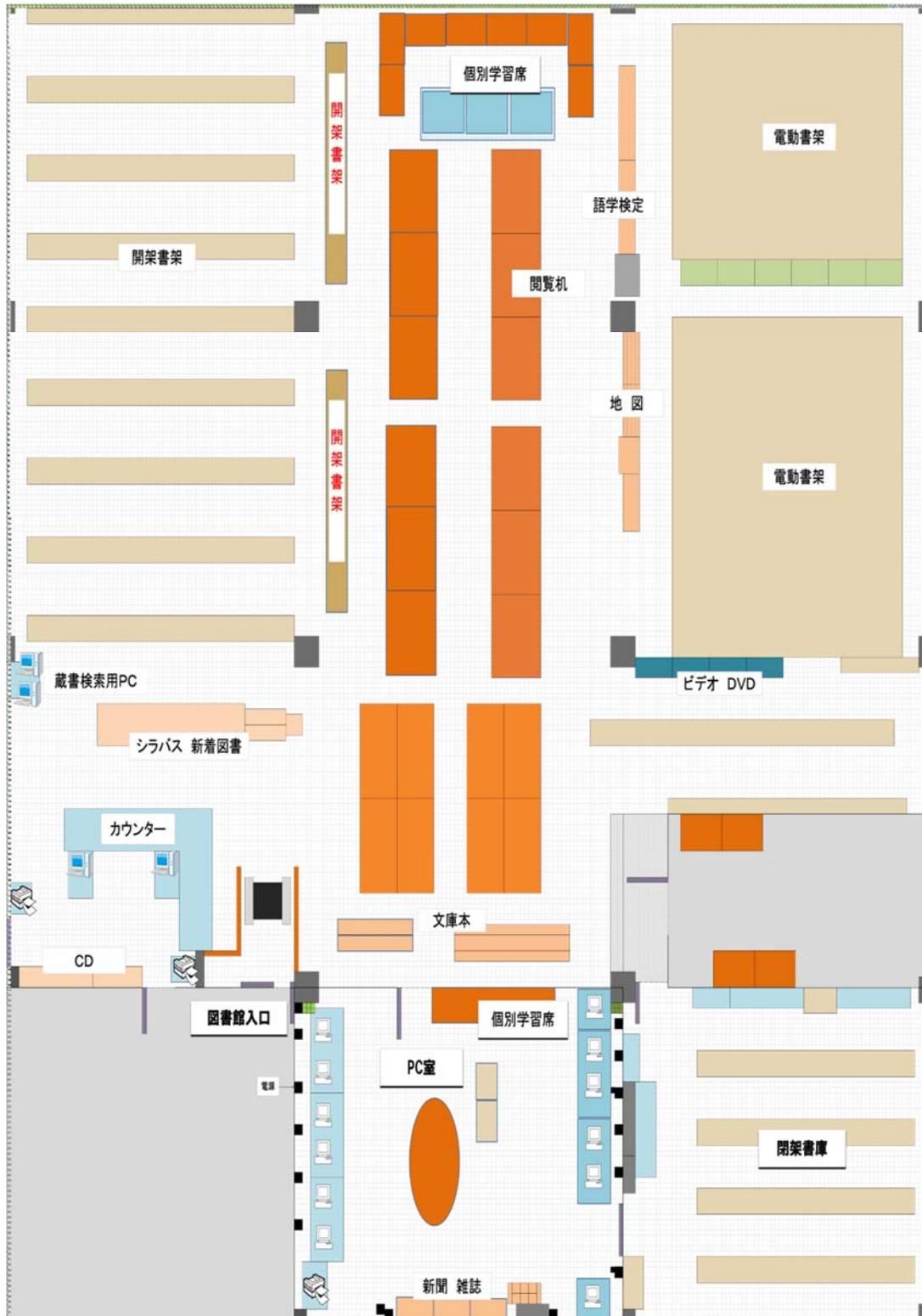
▼無線 LAN の増強について

無線 LAN を設置後、ak-guest にてテスト運用を行っていましたが、無線 LAN の電波が行き届いていない箇所が多いことが確認されました。無線 LAN の電波強度チェックを行った上で、学内の無線 LAN 増強工事を 12 月中旬～1 月下旬にかけて行っております。

なお、無線 LAN の一般開放について、今後、無線 LAN の運用ルールを策定し、PC の登録手続き方法について準備ができ次第の予定です。

(出典 平成 25 年度いんぷお)

資料 8 - 2 - ① - 1



(出典 図書館資料)

資料 8 - 2 - ① - 2

秋田高専図書館統計

蔵書冊数

平成26年3月31日現在

種別	和書	洋書	計(冊)
図書	70,043	6,288	76,331
製本雑誌	4,881	6,752	11,633
合計	74,924	13,040	87,964

分類別蔵書冊数

平成26年3月31日現在

区分	図 書		
	和書	洋書	計(冊)
0 総 記	4,462	256	4,718
1 哲 学	2,803	287	3,090
2 歴 史	5,163	35	5,198
3 社会科学	5,489	382	5,871
4 自然科学	15,466	1,612	17,078
5 工 学	17,990	771	18,761
6 産 業	1,231	12	1,243
7 芸 術	3,591	58	3,649
8 語 学	3,827	1,181	5,008
9 文 学	10,021	1,694	11,715
小 計	70,043	6,288	76,331
製本雑誌	4,881	6,752	11,633
合計	74,924	13,040	87,964

雑誌所蔵種類数

平成26年3月31日現在

種別	和雑誌	洋雑誌	計
	805	76	881

視聴覚資料所蔵タイトル数

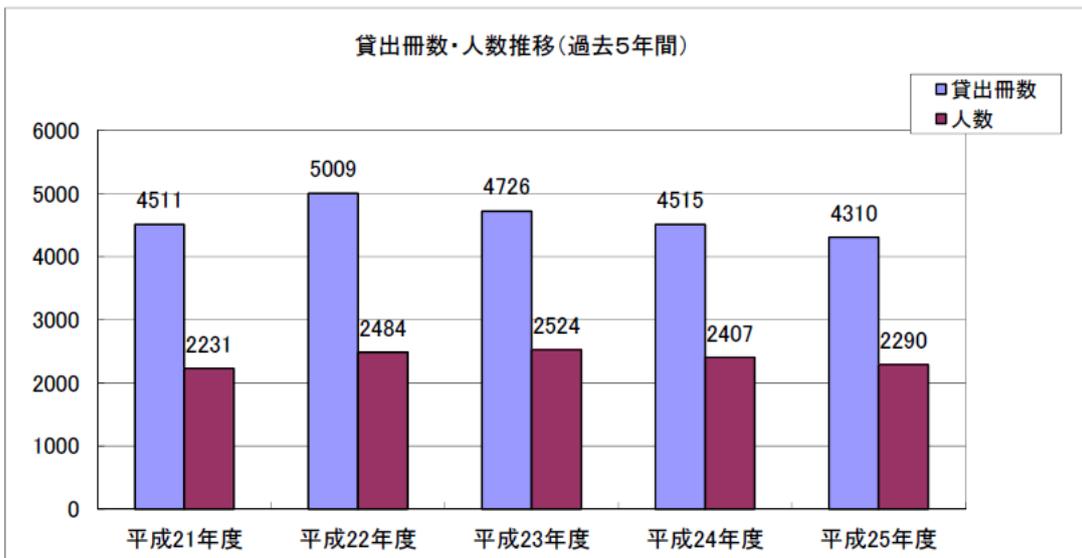
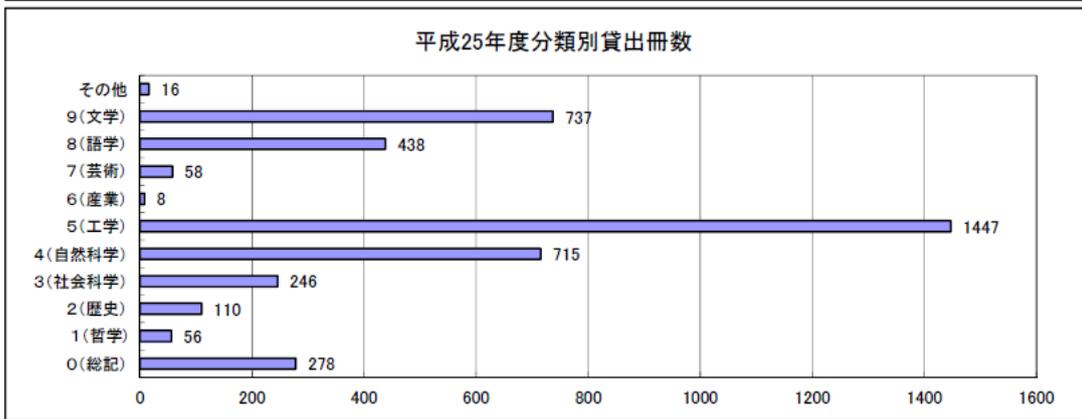
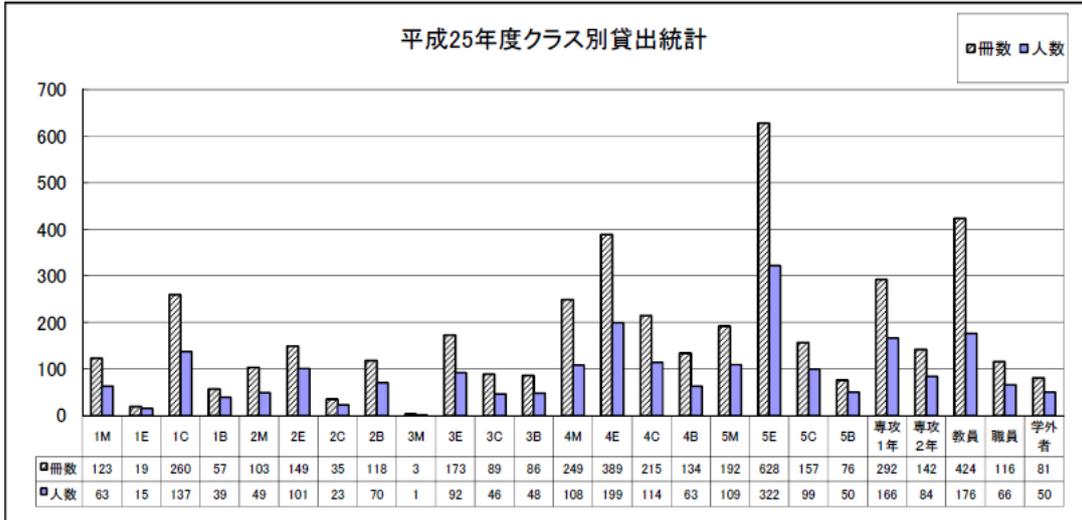
平成26年3月31日現在

DVD	CD	ビデオ	計
62	731	926	1719

(出典 図書館資料)

資料 8 - 2 - ① - 3

貸出関係統計



(出典 図書館資料)

パスファインダー～情報の道案内①

ライフサイクルアセスメント・グリーンケミストリー

環境問題について専門的に評価するには？環境に優しい化学とは？調べてみましょう。

キーワード

検索のためのキーワードは・・・

ライフサイクルアセスメント	LCA	グリーンケミストリー
---------------	-----	------------

入門的な情報源

言葉の意味やテーマの意味が不明確な場合は百科事典、用語事典を引いてみましょう。
新しい分野のため、最新のものを使いましょう。

<図書館で所蔵している図書の一例>

書名	請求記号	配置場所
安全の百科事典	519.9-A49	参考図書
エネルギー・環境キーワード辞典	501.6-N77	参考図書
生物工学ハンドブック	460.36-N77	参考図書

図書館の図書を探す

●テーマの棚に行って探す

図書には 1 冊毎にテーマを表す分類番号が付いていて、この番号順に書架に並んでいます。

<関連分野の分類記号>

519	公害・環境工学	518	衛生工学		
-----	---------	-----	------	--	--

※各分野の環境問題については、519 ではなく、その分野に並んでいます。例えば建設の時の環境問題については 510(建設・土木工学)にあります。グリーンケミストリーについては内容によって化学(430)・合成化学(434)・化学工業(570)等に分散しています。

●OPAC で調べる

オンライン目録(OPAC)で本校図書館の蔵書を調べることができます。資料の所蔵の有無、配架場所、請求記号がわかります。

●図書館で所蔵している図書(一例)

<平成 17 年度特定分野強化資料として購入>

書名等	請求記号	配置場所
LCA(ライフサイクルアセスメント)を用いた環境情報開示の新戦略 / 柳澤衛著(第一法規)	519.15-Y53	開架図書
LCAの実務(LCA シリーズ 2) / 稲葉敦監修(産業環境管理協会)	519.15-I51	開架図書
ライフサイクルアセスメント / (産業環境管理協会)	519.15-I81	開架図書
農業におけるライフサイクルアセスメント(農環研シリーズ) / 農林水産	519.15-N91	開架図書

(出典 図書館資料)

資料 8 - 2 - ① - 6

平成25年6月27日			
文化報道委員のみなさま			
ブックハンティング実施要項			
		図 書 館 長	
1. 実施期日：平成25年7月2日（火）～7月19日（金）			
2. 担当者：各クラス文化報道委員			
3. 方 法			
① 担当者は「ブックハンティング担当者全体ミーティング」に参加する。			
② クラスにブックハンティングについて周知する。			
③ クラスの希望をまとめ、「購入希望リスト」を作成する。			
④ 「購入希望リスト」を図書館へ提出する。			
※提出されたリストについては図書館で集約し、学校図書としてふさわしくないもの等を除き、購入し配架する。			
4. 説 明 会			
担当者全体ミーティング：1回目	7月2日（火）	12時40分～	スカイラウンジ
担当者全体ミーティング：2回目	7月2日（火）	16時40分～	スカイラウンジ
※各クラス文化報道委員は全員参加すること			
「購入希望リスト」提出締切	7月19日（金）	提出先：図書館	
5. 購入金額：1万円前後/クラス			
6. 購入図書選定上の注意			
下記のような図書は原則的に除く。（必 田 な場 田 は相談してください。）			
①	漫画(画集含む)		
②	雑誌およびその増刊号(特集号)		
②	公序良俗に反するもの		
※	わからない時は、図書館長補	西野先生、	または、図書館まで問い 田 わせください。

(出典 図書館資料)

